

課外活動に関するアンケート

本アンケートは、豊橋技術科学大学で行われている「高専連携教育研究プロジェクト」において、採択されました「技術者教育としての課外活動の可能性の提示と教育メソッドの開発」に関するものです。

本プロジェクトの目的は「技術者教育としての課外活動の可能性を提示し、高専—技科大においてどの課外活動団体においても実践可能な教育メソッドを開発する」ことにあります。現状では、個別の取組として行われているであろうこのような取組を体系化・普遍化しメソッドを開発することは、高専や技科大の技術者教育にとって大きな意味のあることだと考えております。

つきましては、メソッド開発の第一歩といたしまして、技術者教育としての課外活動の可能性を考察し、その意義を明らかにするとともに、現在取り組まれている課外活動における教育実践を集約するために、本アンケートにご協力いただけましたら幸甚に存じます。

なお、本アンケートで得られました知見につきましては、平成 21 年度独立行政法人国立高等専門学校機構主催教育教員研究集会において発表する予定であることを申し加えます。

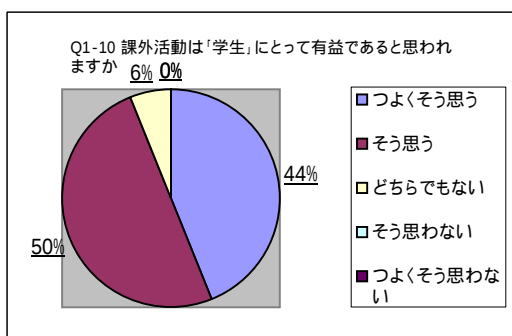
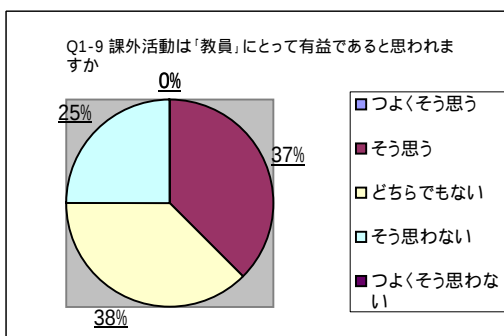
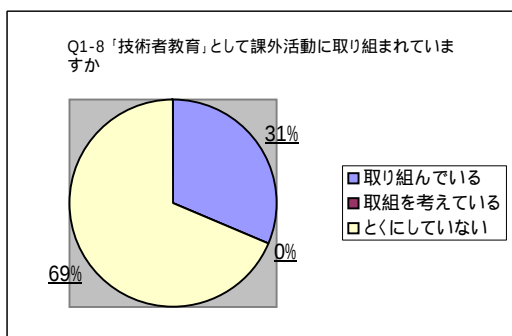
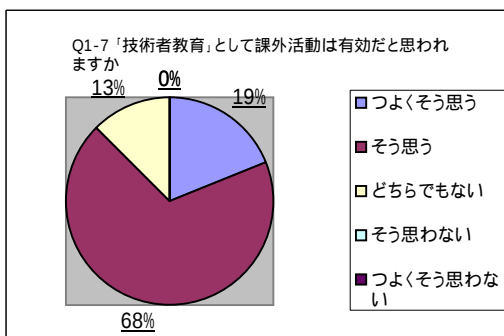
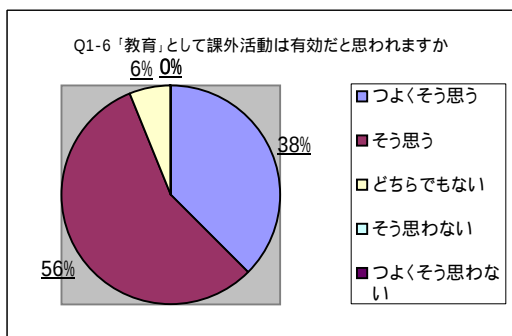
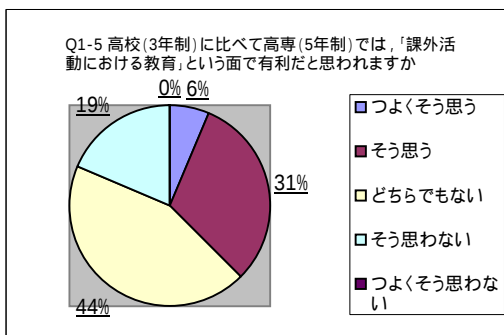
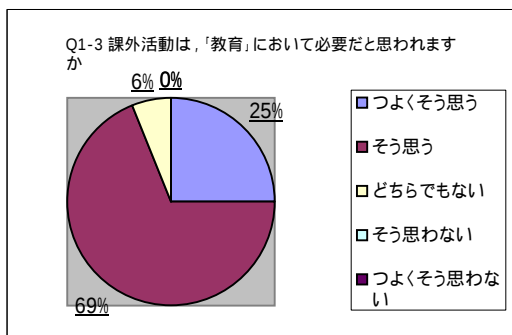
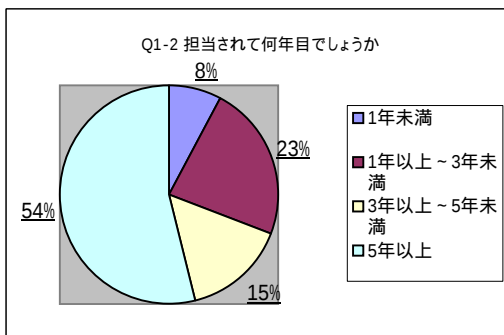
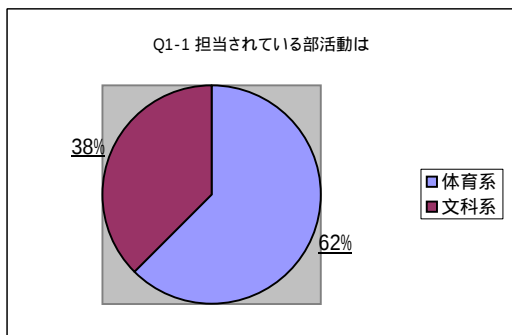
情報電子工学科 岩崎洋平

記述方法について

- ◆ 設問は Q1～Q6 までございます。
- ◆ 複数の部活の顧問をされている方は、一つ部活を選び、その中での活動についてお答えください。
- ◆ 数字でお答えいただく欄に、直接、数字を記入してください。
- ◆ 自由記述欄は適宜、増やされてもかまいません。行数など制限はございません。
- ◆ 設問が多くなっておりますが、可能な限りお答えいただけますようよろしくお願いいたします。

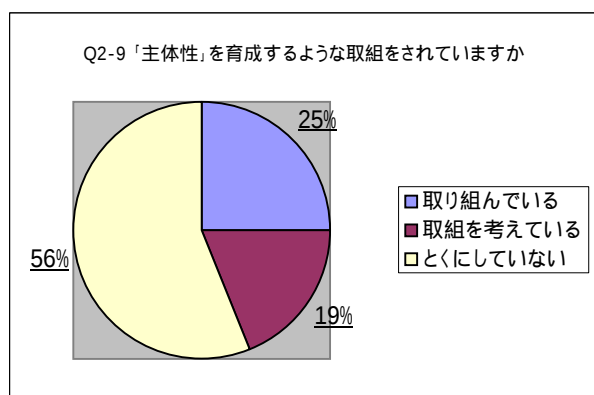
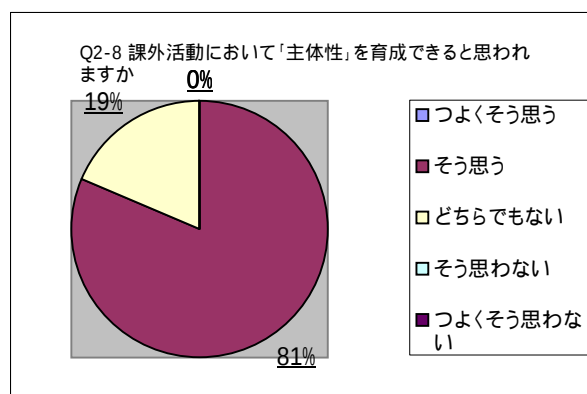
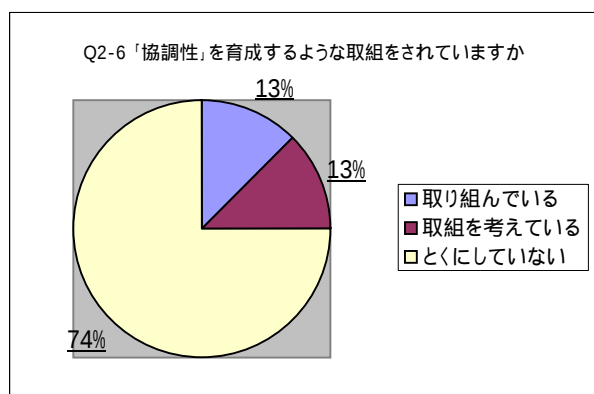
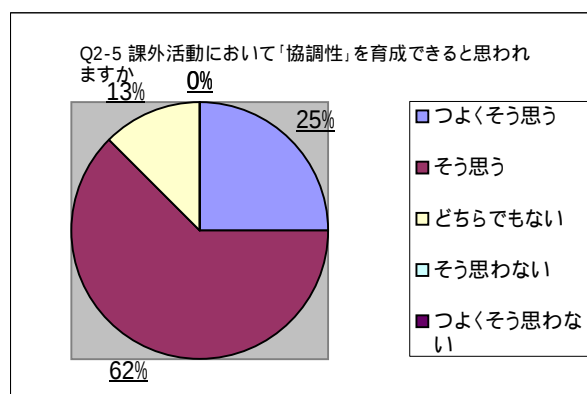
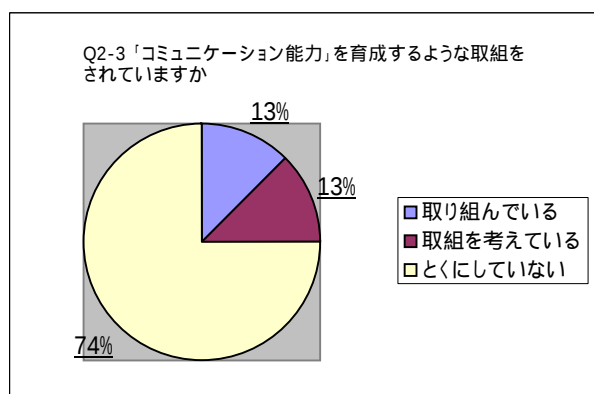
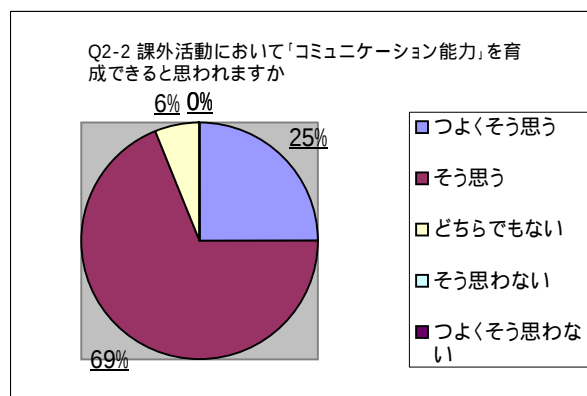
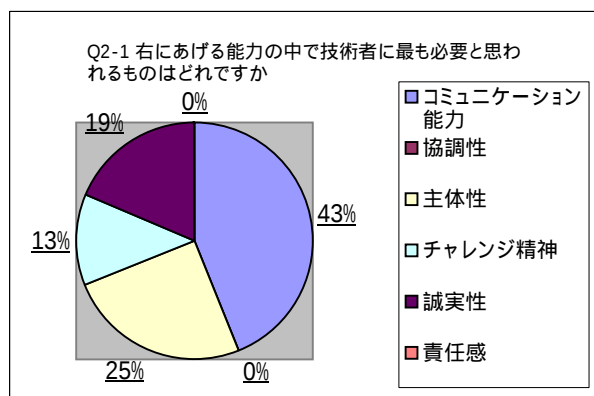
■ 回答数：16 名（体育系：10 名，文科系 6 名）

No.	項目	選択肢	選択
Q1-1	担当されている部活動は	1: 体育系 2: 文科系	
Q1-2	担当されて何年目でしょうか	1: 1年未満 2: 1年以上～3年未満 3: 3年以上～5年未満 4: 5年以上	
Q1-3	課外活動は、「教育」において必要だと思われますか	1: つよくそう思う 2: そう思う 3: どちらでもない 4: そう思わない 5: つよくそう思わない	
Q1-4	「教育」と「技術者教育」についてのお考えをお聞かせください。	自由に記述ください。	
Q1-5	高校(3年制)に比べて高専(5年制)では、「課外活動における教育」という面で有利だと思われますか	1: つよくそう思う 2: そう思う 3: どちらでもない 4: そう思わない 5: つよくそう思わない	
Q1-6	「教育」として課外活動は有効だと思われますか	1: つよくそう思う 2: そう思う 3: どちらでもない 4: そう思わない 5: つよくそう思わない	
Q1-7	「技術者教育」として課外活動は有効だと思われますか	1: つよくそう思う 2: そう思う 3: どちらでもない 4: そう思わない 5: つよくそう思わない	
Q1-8	「技術者教育」として課外活動に取り組まれていますか	1: 取り組んでいる 2: 取組を考えている 3: とくにしていない	
Q1-9	課外活動は「教員」にとって有益であると思われますか	1: つよくそう思う 2: そう思う 3: どちらでもない 4: そう思わない 5: つよくそう思わない	
Q1-10	課外活動は「学生」にとって有益であると思われますか	1: つよくそう思う 2: そう思う 3: どちらでもない 4: そう思わない 5: つよくそう思わない	



Q1-4	「教育」と「技術者教育」についてのお考えをお聞かせください。
1	特に意見はない
2	教育は知識は授業で行われるが、人間力の教育は担任としての生活指導、クラブ等の活動でなされると思う。技術者教育は、いろんなことを包含しているが、知識と実践技術をあわせたものでしょう。
3	様々な立場の人と交流を行うことにより、コミュニケーション力を育成することが可能である。 また、部活動を通じた努力の継続、その成果発表などを通じた成功体験は、自己効力感を育むのに適している。
4	(質問が漠然としていて、何を答えたらよいのか……)
5	生活力育成の支援であるという基礎は共通している。その基礎の上で、「技術者教育」ななされるべきであると考える。
6	技術者教育は単なる教育と異なり、指導力・コミュニケーション能力・創造力を養うものである
7	「教育」はより人間教育がつよく、「技術者教育」は技術・技能のスキルアップ教育のイメージが強いように考える
8	教育は人間教育、技術者教育は、何が問題かを発見し、それを解決しようとする技術者の卵を養成することだと思う
9	「教育」と言うとき一般教養教育が思い浮かぶのに対し、「技術者教育」は技術者という専門家を育成するための教育と考えている。
10	技術者である前に、人間形成が大事だ。
11	「技術者教育」というと、専門的知識の習得や、技術者の資質を育成など、非常に狭い意味を想像します。
12	学力・知識の向上と人間性を育てるという意味において大きな差はないと思う。
13	「技術者教育」と特化させるのではなく「人間力」養成という根幹で「教育」と同じていると考えます。

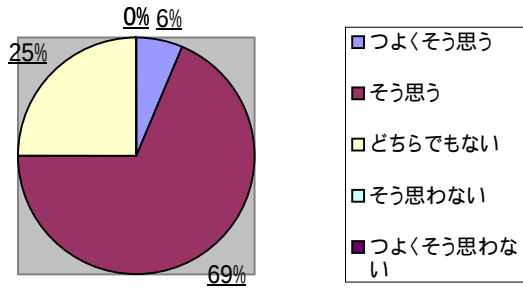
No.	項目	選択肢	選択
Q2-1	右にあげる能力の中で技術者に最も必要と思われるものはどれですか	1: コミュニケーション能力 2: 協調性 3: 主体性 4: チャレンジ精神 5: 誠実性 6: 責任感	
Q2-2	課外活動において「コミュニケーション能力」を育成できると思われますか	1: つよくそう思う 2: そう思う 3: どちらでもない 4: そう思わない 5: つよくそう思わない	
Q2-3	「コミュニケーション能力」を育成するような取組をされていますか	1: 取り組んでいる 2: 取組を考えている 3: とくにしていない	
Q2-4	1,2と答えられた方にお聞きます どのような取組ですか	自由に記述ください.	
Q2-5	課外活動において「協調性」を育成できると思われますか	1: つよくそう思う 2: そう思う 3: どちらでもない 4: そう思わない 5: つよくそう思わない	
Q2-6	「協調性」を育成するような取組をされていますか	1: 取り組んでいる 2: 取組を考えている 3: とくにしていない	
Q2-7	1,2と答えられた方にお聞きます どのような取組ですか	自由に記述ください.	
Q2-8	課外活動において「主体性」を育成できると思われますか	1: つよくそう思う 2: そう思う 3: どちらでもない 4: そう思わない 5: つよくそう思わない	
Q2-9	「主体性」を育成するような取組をされていますか	1: 取り組んでいる 2: 取組を考えている 3: とくにしていない	
Q2-10	1,2と答えられた方にお聞きます どのような取組ですか	自由に記述ください.	



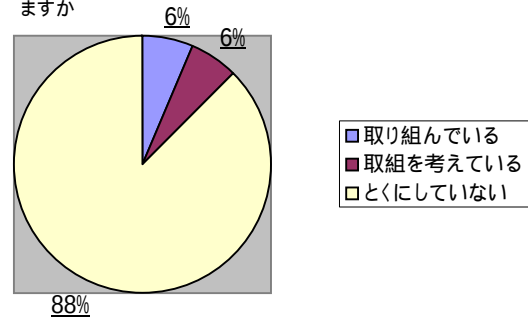
Q2-4	コミュニケーション能力に関する取り組みについてお聞かせください	Q2-7	協調性に関する取り組みについてお聞かせください	Q2-10	主体性に関する取り組みについてお聞かせください
1	挨拶などだけではなく、たとえば学部コーチや他校指導者などに対する態度、報告・連絡・相談の指導などを徹底したいと考えている。	1	チームスポーツであるために、自らの行動・判断がチームにとってどのような意味・影響が生ずるのかを常に意識させたいと考えている。	1	学生主体で実験テーマや課題を設定させている。
2	大きな声で挨拶、必要なことを連絡・相談すること	2	合宿・練習試合など	2	私自身が未経験者であることを踏まえ、練習計画の立案・実施については、ある程度学生に任せている。また、主体性と共にそれぞれの立場に応じたフォロワーシップを持つように指導したいと考えている。
3	異クラス、異学年の部員と共に活動していく中で自然と育成されていくと思う。	3	異クラス、異学年の部員と共に活動していく中で自然と育成されていくと思う。	3	顧問はクラブ運営のサポート役に徹している。
4	授業中の質疑応答を通して、	4	クラブ全員が一同に会して、問題を討議し解決法を共有する	4	学生自身に練習計画や試合対策などを考えさせること
5	「話す」「聞く」を求められる場を設けるよう心がけている。	5	クラブ運営、合宿、高専祭等で、クラブのメンバー全員で取り組むよう促している。	5	自ら考え、練習することなどを指導している
				6	折にふれ言って聞かしている。
				7	異クラス、異学年の部員と共に活動していく中で自然と育成されていくと思う。
				8	学生の要望を可能な限り実現したいと考えている。

No.	項目	選択肢	選択
Q3-1	課外活動において「チャレンジ精神」を育成できると思われ ますか	1: つよくそう思う 2: そう思う 3: どちらでもない 4: そう思わない 5: つよくそう思わない	
Q3-2	「チャレンジ精神」を育成するような取組をされていま すか	1: 取り組んでいる 2: 取組を考えている 3: とくにしていない	
Q3-3	1,2と答えられた方にお聞きます どのような取組ですか	自由に記述ください.	
Q3-4	課外活動において「誠実性」を育成できると思われま すか	1: つよくそう思う 2: そう思う 3: どちらでもない 4: そう思わない 5: つよくそう思わない	
Q3-5	「誠実性」を育成するような取組をされていますか	1: 取り組んでいる 2: 取組を考えている 3: とくにしていない	
Q3-6	1,2と答えられた方にお聞きます どのような取組ですか	自由に記述ください.	
Q3-7	課外活動において「責任感」を育成できると思われま すか	1: つよくそう思う 2: そう思う 3: どちらでもない 4: そう思わない 5: つよくそう思わない	
Q3-8	「責任感」を育成するような取組をされていますか	1: 取り組んでいる 2: 取組を考えている 3: とくにしていない	
Q3-9	1,2と答えられた方にお聞きます どのような取組ですか	自由に記述ください.	

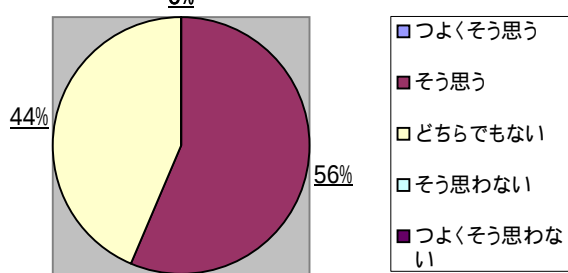
Q3-1 課外活動において「チャレンジ精神」を育成できる
と思われますか



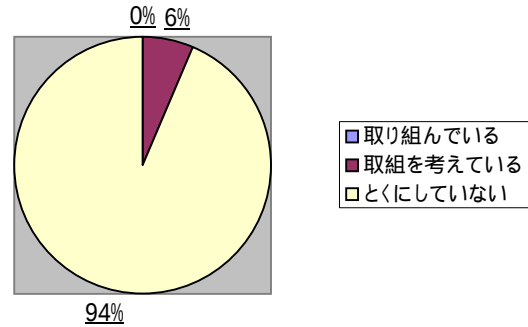
Q3-2 「チャレンジ精神」を育成するような取組をされていますか



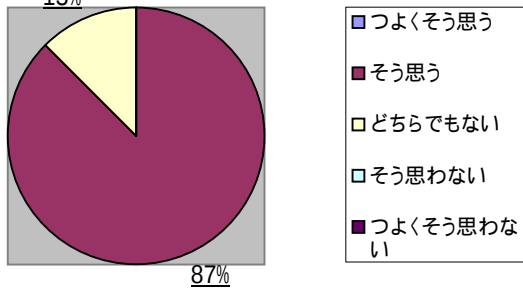
Q3-4 課外活動において「誠実性」を育成できると思われ
ますか



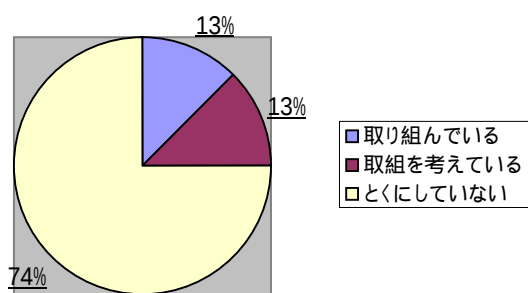
Q3-5 「誠実性」を育成するような取組をされていますか



Q3-7 課外活動において「責任感」を育成できると思われ
ますか



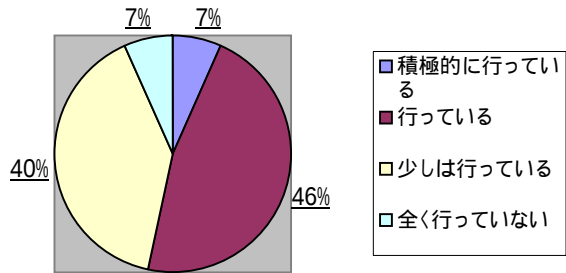
Q3-8 「責任感」を育成するような取組をされていますか



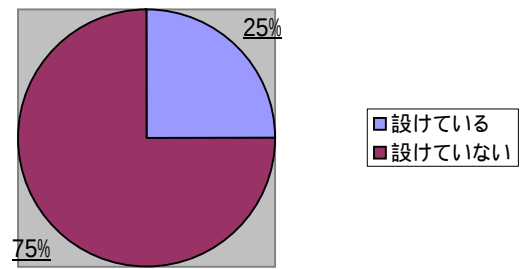
Q3-3	チャレンジ精神に関する取り組みについてお聞かせください	Q3-6	誠実性に関する取り組みについてお聞かせください	Q3-9	責任感に関する取り組みについてお聞かせください
1	目標を立て、それに対して今何が必要なのかを考えさせたいと思っている。	1	他の項目でも答えたが、自分行動・判断が他の者にどのような影響を与えるのか意識させることにより、自らに誠実な行動がとれるよう指導していきたいと考えている。	1	部長が活動計画を作り、部員に周知徹底させて、実行させる方針にしている。
2	折にふれ言って聞かしている。	2	異クラス、異学年の部員と共に活動していく中で自然と育成されていくと思う。	2	キャプテン、マネージャー、その他、それぞれの立場や役割に応じた仕事を確実にを行うよう指導したいと考えている。
3	異クラス、異学年の部員と共に活動していく中で自然と育成されていくと思う。			3	道具や設備を大事にすること、失敗の原因を考えることを指導している
				4	異クラス、異学年の部員と共に活動していく中で自然と育成されていくと思う。
				5	特にクラブの主将や副主将と話し、クラブ運営の状況を確認するよう心がけている。

No.	項目	選択肢	選択
Q4-1	部活動運営についてなど、技術的なこと以外の指導も行なわれていますか	1: 積極的に行っている 2: 行っている 3: 少しは行っている 4: 全く行っていない	
Q4-2	1.～3.と答えられた方にお聞きします どのような指導をされていますか	自由に記述ください.	
Q4-3	4.と答えられた方にお聞きします 何故されていないのでしょうか	自由に記述ください.	
Q4-4	部長・副部長以外の役職を設けていますか	1: 設けている 2: 設けていない	
Q4-5	1.と答えられた方にお聞きします どのような役職を設けられていますか	自由に記述ください.	
Q4-6	役職は技術者教育として有益であると思われますか	1: つよくそう思う 2: そう思う 3: どちらでもない 4: そう思わない 5: つよくそう思わない	
Q4-7	ミーティングは行われていますか	1: 積極的に行っている 2: 行っている 3: 少しは行っている 4: 全く行っていない	
Q4-8	1.～3.と答えられた方にお聞きします ミーティングにはどのように関わられていますか	1: 積極的に関わっている 2: 関わっている 3: 少しは関わっている 4: 学生に任せている	
Q4-9	1.～3.と答えられた方にお聞きします ミーティングにどのような効果を望まれていますか	自由に記述ください.	
Q4-10	4.と答えられた方にお聞きします 何故されていないのでしょうか	自由に記述ください.	
Q4-11	その他、運営に関する取組がございましたらお聞かせください	自由に記述ください.	

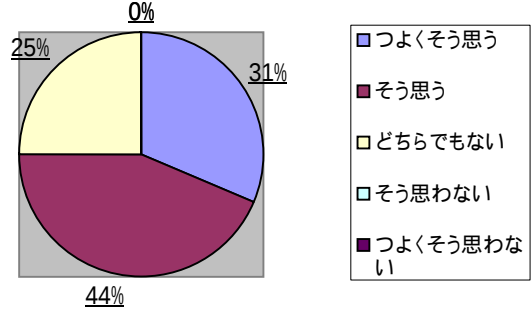
Q4-1 部活動運営についてなど、技術的なこと以外の指導も行なわれていますか



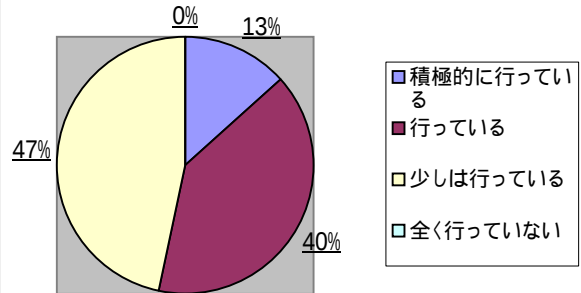
Q4-4 部長・副部長以外の役職を設けていますか



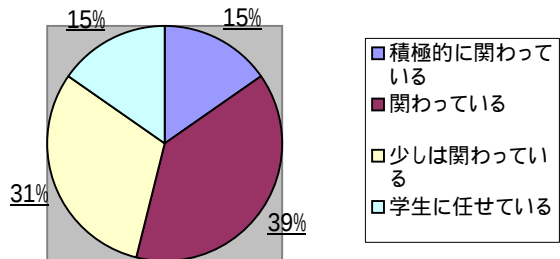
Q4-6 役職は技術者教育として有益であると思われますか



Q4-7 ミーティングは行われていますか



Q4-8 1.~3.と答えられた方にお聞きます
ミーティングにはどのように関わられていますか



Q4-2	部活動運営についてなど、技術的なこと以外の指導についてお聞かせください	Q4-3	なぜ、技術的なこと以外の指導を行われていないのでしょうか
1	様々な申し込みの書類作成や締切を必ず守ること。約束を守ること。何でも良いので報告をすること。など生活についての基本的なことを指導。	1	学生の主体的な活動で十分にやっている。
2	時間厳守		
3	むしろ技術的指導はあまり行えないため、それ以外の面で学生をサポートしている。 具体的には、協会との連携・運営協力などを含め、会計等の運営面での協力を行っている。		
4	技術的指導は外部コーチや上級生が行う。したがって部外コーチとの連絡、協会との連絡、施設使用に係わる指導、生活指導などがメイン。		
5	マナーや運営方法についての指導		
6	成績点検などの学力に関する指導		
7			
8	会計、顧問のスケジュール管理ほかの 様々な裏方としての雑務		
9	昨年12月に開催した吹奏楽定期演奏会の準備において、学生自身に企画立案や運営、また、冊子やアンケートの作成をさせる事でリーダーシップ能力の向上を目指した。		
10			
11	自主性や自立を促すような指導をしている。		
12	挨拶、声だし、身なり、整理整頓、書類作成、外部との折衝		
13	学生の作品への批評とアドバイス		
14	部費の管理。夏季休暇中の宿泊施設の利用。買出し。 物品発注。ミーティングの立会など。		
15	将来の技術者としてのクラブ活動の位置づけを話して上げる		
16	技術指導ができないので、主に運営のアドバイスを行う(練習計画、大会参加、合宿、高専祭バザーなど)		

Q4-5	どのような役職を設けられていますか	Q4-9	ミーティングにどのような効果を望まれていますか
1	部長・副部長	1	自分の意見をしっかりと主張すること。また他人に説明できるだけの下調べをする責任を持つこと。
2	会計	2	自分たちで意見を出し合っている。議論の場に慣れることである。
3	マネージャー	3	目標設定や自分たちの活動成果の評価を通じたフィードバックによる改善に有益だと考えている。
4	部長の負担軽減のためのサポート教員を配置	4	目的意識の確認、円滑なクラブ運営、部活動の伝統の継承など
		5	チームの結束力・主体性の向上
		6	指導者の思いを伝えるとともに、学生の状況を把握する
		7	チームとしてのまとまりができる。
		8	自分たちの状況把握、自主性の育成。
			部員全体の意志統一
		10	より良いロボット製作に関するアイデアの集約。(ロボコン部の場合)
		11	コミュニケーション、協調性、責任感
		12	コミュニケーション能力の育成。また主将・副主将にはリーダーシップの育成。

ミーティングをしていない

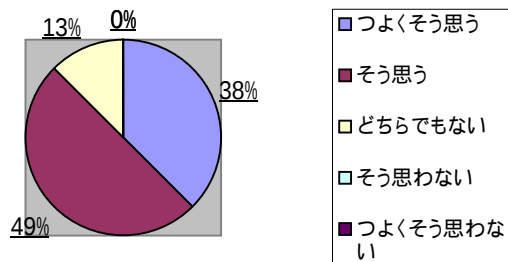
Q4-10	4.と答えられた方にお聞きします 何故されていないのでしょうか	Q4-11	その他、運営に関する取組がございましたらお聞かせください
1	学生同士の切磋琢磨を期待して	1	基本的には学生主体で運営できるように、見守る形をとっている。部長や部員からの相談があれば、改善点などを指摘して、みんなに周知する。
2		2	保護者後援会との交流
3		3	練習試合企画、試合運営補助、保護者会との連絡、等
4		4	顧問間での定期的なミーティング 協会とのパイプ作り

次のような取組について教育・技術者教育として有益であると思われますか

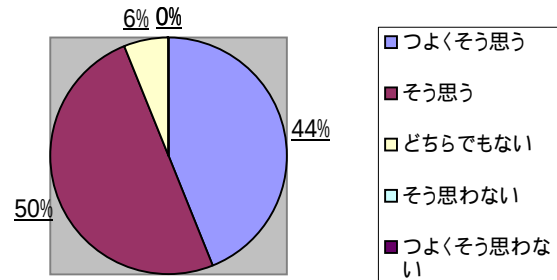
(実際に私が学生時代に取り組んでいたもの、現在課外活動において取り組むもしくは取り組もうと考えているものです。)

No.	項目	選択肢	選択
Q5-1	最後まで心を切らず、やり切る (例えば、お世話になったら、その場でのお礼 その後のお礼、次に会った時のお礼と3度お礼をする・引継ぎまできちんとするなど)	1: つよくそう思う 2: そう思う 3: どちらでもない 4: そう思わない 5: つよくそう思わない	
Q5-2	役職などを引き継ぐとき、前任者は引き継ぎを確実にやり、後任者は自分の工夫を加える	1: つよくそう思う 2: そう思う 3: どちらでもない 4: そう思わない 5: つよくそう思わない	
Q5-3	卒業生・OB・OGに学ぶ(話をする機会を設けるなど)	1: つよくそう思う 2: そう思う 3: どちらでもない 4: そう思わない 5: つよくそう思わない	
Q5-4	大会やイベント終了後などに、一人ずつスピーチをする機会を設ける。	1: つよくそう思う 2: そう思う 3: どちらでもない 4: そう思わない 5: つよくそう思わない	
Q5-5	イベントの幹事など、部員全員回り持ちで行うようにする。	1: つよくそう思う 2: そう思う 3: どちらでもない 4: そう思わない 5: つよくそう思わない	

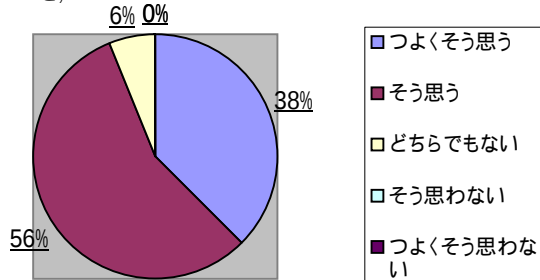
Q5-1 最後まで心を切らず、やり切る
(例えば、お世話になったら、その場でのお礼、その後のお礼、次に会った時のお礼と3度お礼をする・引き継ぎまできちんとするなど)



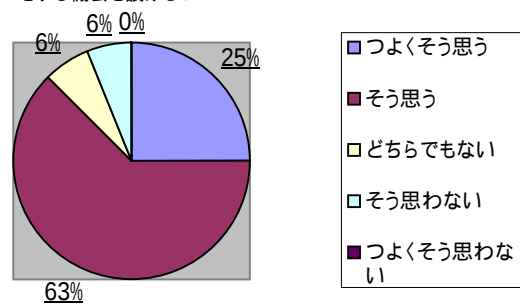
Q5-2 役職などを引き継ぐとき、前任者は引き継ぎを確実にやり、後任者は自分の工夫を加える



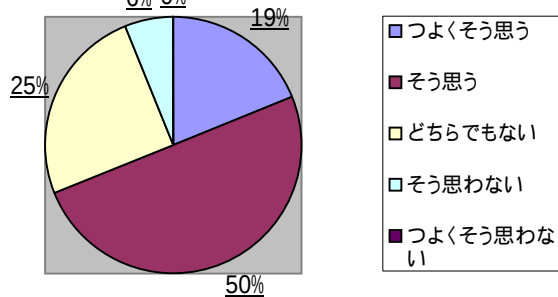
Q5-3 卒業生・OB・OGに学ぶ(話をする機会を設けるなど)



Q5-4 大会やイベント終了後などに、一人ずつスピーチをする機会を設ける。



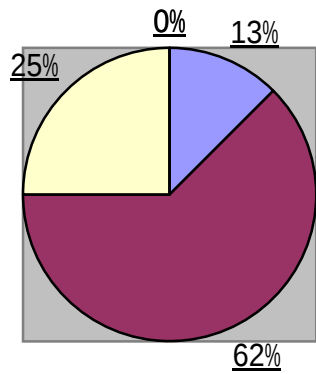
Q5-5 イベントの幹事など、部員全員回り持ちで行うようにする。



No.	項目	選択肢	選択
Q6-1	有効と思われるメソッドが提示されたら取り入れたいと思われませんか	1: つよくそう思う 2: そう思う 3: どちらでもない 4: そう思わない 5: つよくそう思わない	
Q6-2	その他, 技術者教育に有益な取組がありましたらお聞かせください.	自由に記述ください.	
Q6-3	本アンケートについてご意見有りましたらお聞かせください	自由に記述ください.	
Q6-4	課外活動・技術者教育についてご意見ありましたらお聞かせください	自由に記述ください.	
Q6-5	その他, ご意見ありましたらお聞かせください.	自由に記述ください.	

お手数をおかけいたしました.
ご協力ありがとうございました.

Q6-1 有効と思われるメソッドが提示されたら取り入れたいと思えますか



- つよく思う
- そう思う
- どちらでもない
- そう思わない
- つよく思わない

Q6-2	その他、技術者教育に有益な取組がありましたらお聞かせください。	Q6-3	本アンケートについてご意見ありましたらお聞かせください
1	特になし	1	特になし
2	時間を守らせる。あいさつをさせる。掃除をさせる。	2	
3	インターンシップ報告会や課題研究発表会などの発表の場を多くもうけることが望ましいと思います	3	高専での課外活動は、私たち教員がその位置づけを明確にできていないこともあり、これまで適切に評価されていなかったものだと思います。その意味で、今回のアンケート調査およびその結果をどのように教育活動に反映されようとしているのか興味をもっています。
4	設備や道具を大事に使う	4	部活動の運営形態、特に専門の技術指導ができる教員がいるのか、外部コーチがいるのか、部員に任せっきりのかなど部員と教員とのかかわり方で、その効果は異なると思います。そのカテゴリーで分析されると良いと思います。
5	外部コーチを導入して、技術だけではなく、外部の人との接し方、つきあい方も学んでもらう。 高校や中学と他流試合を組むことで、高専以外の生徒達の部活動の取り組み方を知ってもらう。	5	Q1-4など分かりにくい問がある。 体育系には合いにくいというような気もする
		6	Q1で書きましたが、「技術者教育」という言葉をから特別なものを想像するので、例えばその定義を明らかにするなどしてくれれば答えやすかったか と思います。
		7	余りに役に立ちそうになくてすいません、

Q6-4	課外活動・技術者教育についてご意見ありましたらお聞かせください	Q6-5	その他、ご意見ありましたらお聞かせください。
1	高専では多様な業務があるため、課外活動の指導の負担は大きい。特に実験系の専門学科の教員にとっては、卒研などの指導が放課後になることも多いため、更に課外活動までとなると行き届かない。	1	技術系の企業や社員に対して、技術と課外活動との関係を具体的に調査されると、実際に大事なものがわかると思います。(もう、されておられるかも知れませんが・・・)
2	教員は担当教科を教えることが仕事ではなく、担当教科を教えることも含め、社会が必要とする人材を育成することに責任を持たなければならぬと考えます。それゆえ、課外活動を含め、あらゆる教育機会を適切に捉えながら、人材育成に努めることが必要だと思っています。	2	課外活動は正規の勤務時間外に行われることが多く、これに対する手当てなどの問題の解決を望みます。
3	課外活動はそれ自体で一つの社会を形成していると思います。その中に属して、ある目的に向かって努力すること、組織を運営すること、努力した結果が見えること(達成感を得る)ことなどは、特に技術者教育に限ったことではなく、一人の人間としての成長(人間力を養う)の場になると思います。普通の教育と技術者教育の線引きは難しいと考えます。つまり、課外活動は技術者教育に限らず人間力を高めるために有効だと思います。普通の授業と違って、指導者と学生にはより強い信頼関係がなければならぬし、指導者の熱意に依存するところも大きいと思います。課外活動も一つの教育だと思いますので、それをメソッド化することでどうしたら人間力を高められるかが体系化されることは有意義です。	3	学校処分や注意を受けた学生について、部活動に入っていたかどうかの割合を調べてみると、その有益性が分かるかも知れない。有意な差はないかもしれないが、
4	課外活動は広い視野を養うために有効な手段だと思う		
5	課外活動は人間力育成で十分で、技術者教育とは考えないほうがよい。		
6	課外活動、特に部活動において「技術者教育」を意識していません。		
7	人間性を育てるという点において課外活動は何事にも代え難い貴重な機会だと思う。		
8	課外活動の指導は仕事です 教員の主体性・積極性の指導が先かも		